

令和二年更なる前進を

年が改まって早二月になりました。二月は如月（きさらぎ）という別名で知られているように、寒い季節です。きさらぎとは衣更着で、服の上に更に重ね着するほど寒い月ということです。会員諸氏におかれては、寒中稽古に励んでおられることと存じます。

先日総本部道場で「月刊秘伝（令和2年3月号）」の取材がありました。昨年の全国大会で行われた熟練の部の組手、形の試合で、一位になっても表彰状もメダルも授与されないことの意味について、深く知りたいとの取材意図からでした。

宗家は快く取材に応じ、東京や埼玉、遠くは佐賀から有志が参集し、本来和道流が目指すべき自由組手（戦前から長くフリーと呼んできた）とは如何なるものかを、隠すことなく開陳したのです。一定程度にこのフリーができるようになった時、賞状もメダルも授与されることになるでしょう。この特集が掲載された「月刊秘伝」を熟読して、和道流の真諦を身に着けてほしいと願っております。

今年も早々から積極的に前へ進みます。総本部道場は言うに及ばず、各地で催される研修会・講習会において、宗家の技に直接触れて欲しい、それこそが和道流の真諦に近づく一番の早道だと断言しておきます。

和道流空手道連盟会長 三代宗家 最高師範 大塚博紀
和道流空手道連盟理事長 坂巻明